

令和7年度 自己評価報告書（改善点のみ）

- ・学習に関係のない持ち物の線引きが難しい。例えば、キーホルダーは、低学年は持ってきていないが高学年は持っている児童が多い。また、キーホルダーの数が多い児童もいる。生活指導のルールをどのようにしていくか考えていきたい。
- ・キャリア教育について、キャリアパスポート以外の具体的な授業内容や指導方法を考えていきたい。（学校関係者評価アンケートでも課題となっている）
- ・協働や非認知能力の育成というが、それをどのように評価するのか研究をすすめていく必要がある。
- ・子どもたちがより意欲的になわとびに取り組めるようにしたい。
- ・職員の打ち合わせの内容を事前に teams で共有したことが時間短縮につながった。（働き方改革）一方、チャンネル数が多く管理しづらい面があるのでさらに改善して業務時間を短縮できる。
- ・給食の終了時間を早めることで掃除時間を短縮し昼休みを十分に確保でき、児童も嬉しそうだった。

- ・学年副主任の役割を明確にして、学年団力を向上させ複数の視点で児童を理解できるようにして指導にあたりたい。